

指定緊急作業等従事者等に係る線量等管理実施状況報告書

フリガナ		生年月日	年 月 日	個人番号	
氏 名		性 別	男 ・ 女	指定緊急作業等 従事以前の累積 被ばく線量	
住 所	電 話 ()				
指定緊急作業等時の 所属事業場の名称					
指定緊急作業等時の 所属事業場の所在地	電 話 ()				
現在の所属事業場 の 名 称					
現在の所属事業場 の 所 在 地	電 話 ()				
対象期間	年 月 分			通常作業・緊急作業 の 区 別	通常作業・緊急作業
対 象 月 分 累 積 線 量	外 部 被 ば く 実 効 線 量			作 業 の 場 所	
	眼 の 水 晶 体 の 等 価 線 量				
	皮 膚 の 等 価 線 量				
預 託 線 量					
内 部 被 ば く 測 定 結 果	測 定 日			作 業 の 内 容	
	撮 取 日				
	主 要 核 種 ご と の 測 定 値	核 種			
		測定値	(Bq)		
		核 種			
		測定値	(Bq)		
	核 種				
	測定値	(Bq)			

令和 年 月 日

備考

- 1 外国人の場合、「氏名」の欄は、漢字表記を持たない外国人の場合はローマ字表記で記入するとともに、「住所」の欄には、現住所のほか、母国における住所及び国籍を記入すること。
- 2 「個人番号」の欄は、事業者が指定緊急作業等従事者等の線量等の管理を行うため、これらの者に対し、個人を識別するために番号を付与した場合に記入すること。
- 3 「住所」、「指定緊急作業等時の所属事業場の名称」、「指定緊急作業等時の所属事業場の所在地」、「現在の所属事業場の名称」及び「現在の所属事業場の所在地」の欄は、前回の報告から変更があった場合に記入すること。
- 4 「対象期間」の欄は、指定緊急作業等従事者等が、

(1) 緊急作業に従事する間は、1か月分を対象期間とすること。(提出は、当該対象期間とする月の翌々月末日まで)

(2) 放射線業務(緊急作業を除く。)に従事する間は、3か月分を対象期間とし、「 月分」の欄に、その期間が分かるよう記入すること。(提出は、当該対象期間の満了の月の翌々月末日まで)
- 5 「作業の場所」及び「作業の内容」の欄は、指定緊急作業等従事者等が、

(1) 緊急作業に従事する間は、当該作業に従事した場所及び作業の内容を記入すること。

(2) 放射線業務(緊急作業を除く。)に従事する間は、「作業の場所」の欄に、当該作業に従事した原子力施設等の名称を記入すること。
- 6 外部被ばくの実効線量の日々の値を把握している場合には、報告対象月分の1日ごとの被ばく線量について、測定開始日時、測定終了日時及びその間の実効線量の一覧を添付すること。